

事業番号	13 01 03	事業改善シート（令和6年度実施事業分）				☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	水道事業（用水供給事業）	部局	企業局	課・室	水道事業課				
		実施期間	S49 ～	E-mail	kigyo	@	pref.nagano.lg.jp		

1 現状と課題

- ・人口減少に伴う用水供給先における水需要の減少、施設の老朽化の進行
- ・令和17年度以降に予定されている送水幹線の更新に向け、用水事業全体の投資計画の策定、必要な財源の確保が必要
- ・将来にわたり安全・安心な水道水を安定して供給する持続可能な経営体制の確立に向けた、未来への計画的な投資、人材の確保・育成、広域連携の強化が必要

2 事業目的

- ・用水供給先に安全な水道水を安定的に届けるため、アセットマネジメントを活用して施設設備の計画的な更新等を実施
- ・近年頻発する大規模災害等に対応して基幹管路の耐震化を実施するとともに、災害発生時における広域的連携を強化
- ・安全で安心な水道水を安定して供給する「持続可能な経営体制」の構築に向け、経営基盤を強化

3 事業目的を達成するための取組

- ① 未来への投資
- ・施設・管路の老朽化対策・耐震化の計画的な推進
施設耐震化（本山浄水場濃縮槽耐震化工事等）
管路耐震化（支線管路耐震化工事）
- ② リスクマネジメント
- ・施設耐震化・管路耐震化の老朽化対策の計画的な推進（再掲）
 - ・片平取水場の取水機能を強化
（取水場改良のための管理道拡幅に向け、用地測量を実施）
- ③ 地域への貢献・地域との連携
- ・松本地域における関係市村との広域化等の取組の推進

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R4年度	R5年度	R6年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移		
①	基幹施設（本山浄水場）の耐震化進捗率	%	90.0	90.0	→	90.0	→	90.0	達成 近年、頻発する大規模地震を踏まえ、本山浄水場の取水口、沈砂池、ろ過地、浄水池、洗浄水槽等の耐震化を行う。
②	管路の耐震適合率	%	95.7	98.8	↗	98.8	→	96.3	達成 近年、頻発する大規模地震を踏まえ、管路の耐震化を行う。
③	指標なし								

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計			
				(予算現額)	うち一般財源		
R6年度	303,143	2,195,512	4,376	2,503,031	0	2,186,506	13.0
R5年度	388,998	2,264,519	△ 18,493	2,635,024	0	2,092,219	13.0
R4年度	205,605	2,299,002	19,543	2,524,150	0	1,929,383	13.0

事業番号	13 01 03	事業改善シート（令和 6 年度実施事業分）				☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	水道事業（用水供給事業）		部局	企業局	課・室	水道事業課			

7 主な取組実績と成果

① 未来への投資

- ・床尾支線管路耐震管布設工事 管路耐震化布設延長 61.8m
- ・本山浄水場 フロキュレータ取替工事他
- ・本山浄水場 濃縮槽耐震化工事他



② リスクマネジメント

- ・片平取水場の管理用道路拡張工事発注に向け、関係機関との調整を実施。

③ 地域への貢献・地域との連携

- ・広域化・広域連携を研究するため、「松塩地域水道事業広域化研究会」を計 3 回実施。



8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標 ①	基幹施設（本山浄水場）の耐震化進捗率	R5年度推移	→	R6年度推移	→	達成状況	達成
本山浄水場耐震化工事については、令和 6 年度から令和 7 年度の間で債務負担を設定しているところ、R 6 年度分の工事を予定どおり行った。							
指標 ②	管路の耐震適合率	R5年度推移	↗	R6年度推移	→	達成状況	達成
令和 6 年度に耐震化工事を実施した管路については、供用開始していないことから耐震適合率に反映されていないが、令和 7 年度の供用開始に向けて、順調に工事を行った。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記 7、8 及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・経営戦略策定時と比べ、資材・人件費が高騰し、経営を圧迫している。
- ・広域化・広域連携においては、地域全体の水運用、水道施設の耐震化や専門人材の確保等、各種課題の検討が必要。

(2) 事業改善の方策

- ・安定的な用水の供給が行えるよう、耐震化工事等の実施に当たっては、経費縮小や更新計画の見直しを図る。
- ・広域化研究会において、地域と連携した広域化の検討をより詳細に行っていく。

事業番号	13 01 03	細事業一覧（令和6年度実施事業分）				□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検			
事業名	水道事業（用水供給事業）				部局	企業局	課・室	水道事業課	

細事業 No.	細事業名			R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
1	水道事業（用水供給事業）			1,929,383 千円	2,092,219 千円	2,186,506 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）			
1	施設設備の老朽化対策等の加速	直接 委託	安心・安全な水道水を安定的に届けるため、施設設備の老朽化対策、耐震化の計画的な推進 本山浄水場濃縮槽耐震化工事			
2	リスクマネジメントの推進	直接 委託	大規模災害等に備え、施設・管路の耐震化、片平取水場の取水機能強化を推進 管路の耐震化 L（延長）＝61.8m			
3	水道事業の広域化等の推進	直接 委託	松本地域における関係市村との広域化等の取組の推進 松塩地域水道事業広域化研究会 3回			